

富士松北小だより

# アベマキ

令和3年11月30日発行



## 芸術の秋、そして二学期のまとめへ



校庭のモミジがまっ赤に染まり、秋の終わりを告げているかのようです。

11月11日(木)に北っ子音楽会を開催したところ、感染対策のためご不便をおかけしたにも関わらず、多くの保護者の皆様に参観していただきました。ありがとうございました。

二学期は、緊急事態措置の中でのスタートで、音楽の授業も10月までは、一切声を出したり、息を使う楽器を使ったりすることができませんでした。10月からの練習もいろいろ制限がありましたが、その中でも、子どもたちは前向きに練習に取り組み、音楽会当日を迎えました。

本番では、「間違えずに歌えるかな」「うまくできるかな」など、不安と緊張で少し表情が硬くなっていましたが、曲が始まると、その不安を吹き飛ばすように一生懸命表現することができました。そして、聴いていただいた保護者の方や、後日放送で鑑賞した他学年の子たちに感動を届けることができました。

さて、二学期に予定していた大きな行事は、ほぼ予定通り実施することができました。ありがたいことです。そして、気づけば令和3年も残すところあと一ヶ月。学校では二学期のまとめに入っていきます。

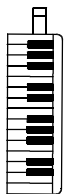


### ～ ① 2年生 ～

#### 「さんぼ」

#### 「花丸ロックンロール」

「さんぼ」は、鍵盤ハーモニカでお互いの音を聞きながら演奏することができました。「花丸ロックンロール」は、リズムに乗って、楽しい雰囲気を体全体で表現することができました。




### ～ ② 1年生 ～ 「ミッキーマウスマーチ」 「少年少女冒険隊」

「ミッキーマウスマーチ」は、始めたばかりの鍵盤ハーモニカですが、リズムに気をつけながら上手に演奏することができました。「少年少女冒険隊」は、曲に合わせて元気いっぱいになり、振り付けもかっこよく決めることができました。



～ ③ 3年生 ～

「山のポルカ」   
「Dabiduba Dabiduba」

「山のポルカ」は、運指をしっかりと覚えて3年生から始めたソプラノリコーダーで演奏することができました。「Dabiduba Da

biduba」は、曲の明るい雰囲気表現し、最後のポーズもかっこよく決まりました。

～ ④ 5・6・7組 ～ 「音楽DEオリンピック」

自分の担当の楽器(リコーダー、グロッケン、鍵盤ハーモニカ、ウインドチャイム、和太鼓)で、世界の音楽を紹介しました。各グループごとにタイミングやテンポを合わせて曲を演奏し、会場を温かい雰囲気にしました。



～ ⑤ 4年生 ～

「いっだって!」「楽しいマーチ」  
「小さな勇気」

「いっだって!」は、スタッカートを意識して弾むように歌うことができました。「楽しいマーチ」は、リコーダーとクラッピングで、音色や強弱の変化のおもしろさを伝えました。

「小さな勇気」は、2部合唱のハーモニーを感じながら、思いを込めて歌うことができました。



※11月13日(土)の刈谷市小中学校音楽会で、1組が「小さな勇気」を、2組が「楽しいマーチ」と「いっだって!」を発表しました!

～ ⑥ 5年生 ～

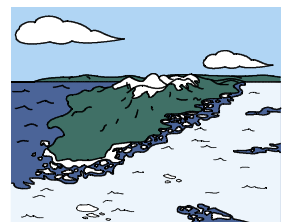
「キリマンジャロ」「いのちの歌」

「キリマンジャロ」は、いろいろな楽器に分かれての合奏でしたが、息をそろえて演奏することができました。「いのちの歌」は、歌詞の意味や曲の雰囲気を大切に表現ができました。



～ ⑦ 6年生 ～

「そよ風のデュエット」  
「群青」



「そよ風のデュエット」は、旋律が重なり合う美しさを感じながら演奏することができました。「群青」は、東日本大震災後の被災した子どもたちの気持ちを、美しいハーモニーと表現力で歌いあげることができました。さすが6年生です!

